



5万分の1地質図幅の新刊

# 塩 竈 SHIOGAMA

5万分の1地質図幅  
地域地質研究報告

著 者 石井武政・柳沢幸夫・山口昇一

発 行 工業技術院 地質調査所

取 扱 先 東京地学協会 (03)261-0809 262-1401  
そのほか全国主要書店

販売価格 2,610円

釜ではなく難しい竈の字を当てる塩竈市は 仙台市の東方約15 km に位置する港湾・工業都市である。正式な行政地名として「塩釜市」に改めるか 「塩竈市」を継続させるのか 市民の間で意見が割れているらしい。

さてその塩竈市を西北部にもつ「塩竈」図幅地域は丘陵が大小の島々を抱きながら海側に突出した地形を呈していて 景勝地“松島”を作り出している。松を頂く島々や丘陵の海岸線は 比高10-40m に達する急崖となって 明媚な風景とともに地質家にはこの上もなく良質な地質露頭を与えている。

「塩竈」図幅地域には 中部三疊系の利府層を基盤として 新第三系・第四系が分布している。

利府層は頁岩を主とする地層で 軟体動物化石を含み特に多賀城市沖の石産の *Daonella* が有名である。

新第三系のうち中新統は松島湾層群と汐見台層とに大別される。松島湾層群は北隣「松島」図幅地域から連続するものであるが 本図幅地域では新たに東宮浜層を加え 計6層に区分した。東宮浜層は下位の地層を斜交して覆うなど 地質学的に独特な位置を占めている。そこでとりわけ東宮浜層については 火山活動を伴いながら西から東へ流下した水中火砕流堆積物ではないかとの推定のもとに 研究報告書では多くのページを割き また地

質図内には6本の断面図を作成して その位置づけを説明した。

汐見台層は主に斜層理の発達した砂岩からなる地層で岩相上 「松島」図幅地域に分布する志田層群下部に対比できる。

鮮新統は丘陵の稜線部や脚部に断片的に分布しているが これらを4層に細分して仙台層群との対比を検討した。

第四系では沖積層をいくつかの単位に区分し かつ埋立て地・盛土地などの分布を示した。

本図幅地域の陸域は地域西部から北部に限られるが地質図を見て分かるように そこに分布する地層・岩石は相当に複雑・多岐である。それは反面 地質学的な見どころが多いことを示している。交通至便な地域一主要な島には塩竈港から定期船が連絡している一でもあるので 地質巡検には好適地であろう。研究報告書中には動植物化石の産地や写真の撮影地点を明示したので参照して頂ければ幸いである。

|             |                       |            |
|-------------|-----------------------|------------|
| 地 質 ニ ュ ー ス | 第355号                 | 3月号        |
| 昭和59年3月1日   | 定価 ¥ 540              | 千 実 費      |
| 編 集         | 発 行                   |            |
| 発 行 人       | 林 久 雄                 | 工業技術院地質調査所 |
| 発 行 所       | 株式会社 実業公報社            |            |
| 印 刷         | 東京都千代田区九段南4の2の12      |            |
|             | Tel. (03)265-0951(代表) |            |
|             | 振替口座 東京1-32466        |            |
| 総発売元        | 株式会社 実業公報社            | 出版事業部      |